

はじめに

藤岡市は、群馬県の南西部に位置し、豊かな自然とともに独自の風土、歴史を育んできました。一方、日本海から太平洋、東北から中京・関西を結ぶ高速交通ネットワークの結節点にあり、東京方面からの群馬の玄関口としても重要な役割を担っています。

近年では、様々な社会情勢により多様化した課題に直面しており、まちづくりにおいても大きな転換点を迎えています。本市においては、2009年（平成21年）3月に策定した「藤岡市都市計画マスタープラン」に基づいてまちづくりを進めてきましたが、策定から10年を経過し、高山社跡の世界文化遺産への登録をはじめとして、産業集積を図るための土地利用の促進、道路網などの都市基盤の整備などにより、都市の姿が変わってきています。また、2018年（平成30年）3月には、まちづくりの大きな方向性を示す「第5次藤岡市総合計画」が策定されました。

こうした状況を踏まえ、第5次藤岡市総合計画における都市計画分野の目標を実現し、にぎわいと活力に満ちた魅力あるまちづくりをさらに推進するため、「藤岡市都市計画マスタープラン」を改定いたしました。

本マスタープランは、将来都市像「快適・安心な交流拠点都市 ふじおか」の実現のため、都市基盤の整備や都市機能の集積、既存集落などのまちのまとまりの維持・強化、農林業との健全な調和を図りながら、計画的なまちづくりを目指すものです。

今後も、本マスタープランに基づいた施策について、市民の皆様の参画による協働のまちづくりに取り組み、本市の都市計画を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本マスタープランの改定にあたり、貴重なご意見をいただきました多くの市民の皆様、ご協力をいただきました関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

平成31年3月

藤岡市長 新井雅博

